

■野呂栄太郎 のろえいたろう ビヲ/国産化・1900＝	経済学者。創痍の身を挺して日本共産党を指導するうち、仲間に売られ、逮捕・拷問死した。 北海道夕張郡長沼村(長沼町)で、家が没落したため中学を中退して出奔し、開拓移民として北海道に渡ってきた三重県安濃郡出身の農民の長男に生まれる。
日露戦争終・1905＝ 5歳：	辛酸をなめながら開拓に取り組みながら、子供の教育にも熱心な家庭に育ち、 長沼第一小学校に入学するも複式学級だったため、祖母の住む旭川に移住、上川小学校に転校したが、
伊藤博文暗殺1909＝ 9歳：	3年次、_運動会で走って転倒して踝を傷め、関節炎となって膝から下を切断、義足となった。
明治天皇没・1912＝12歳：	実家は、この年には40haを所有して、内19haを妻の兄に移譲するまでになっている。 学業には優れ、
第一次大戦始1914＝14歳：	自信をもって庁立札幌第一中学校を受験するも不合格、
21ヶ条要求・1915＝15歳：	翌年も不合格となったため、父が問合わせると、身障者を入学させない方針と分かり、私立北海中学(北海学園)に入学。他校を追い出されたり、一芸に秀でる人材の集まるなか、特待生となり、野球部のマネージャーも勤める。
本格政党内閣1918＝18歳：	
大暴落・・・1920＝20歳：	卒業時、研究報告「安政条約の影響」発表して{北海タイムス}の記事となったほどで、大学令で発足したばかりの早大・慶大ともに合格し、慶応義塾大学予科理財科に入学。勃興期社会主義運動の影響を受け、
原敬首相暗殺1921＝21歳：	
水平社結成・1922＝22歳：	本科に進み、滝本誠一・小泉信三らに学ぶ。また、イギリスから帰国した野坂参三の課外講義で、マルクス主義に開眼、三田社会問題研究会創立に参加。
関東大震災・1923＝23歳：	三田社会科学研究会に改組され、学生社会科学連合会に加盟。第一次共産党事件で野坂も逮捕される。
護憲三派圧勝1924＝24歳：	産業労働調査所に参加。日本労働総同盟主催の日本労働学校の講師として三田労働学校で「資本論」を講じ、労働者の質問に刺激されて日本歴史を勉強するようになり、
円本時代始・1926＝26歳：	*卒業。卒業式の翌日、治安維持法最初の適用事件である<京都学連事件>で逮捕、起訴され、
金融恐慌・・・1927＝27歳：	京都地方裁判所で禁錮十ヵ月、執行猶予二年の判決をうけた。
世界恐慌・・・1929＝29歳：	4・16事件で検挙され、約1ヵ月豊多摩刑務所に留置。プロレタリア科学研究所の創立を指導。
海軍軍縮条約1930＝30歳：	*日本共産党に入党、高橋亀吉の「プロチ帝国主義論」を批判、また「日本資本主義発達史」「日本資本主義発達の歴史的諸条件」を相ついで発表、近代日本の科学的分析の嚆矢となったが、猪俣津南雄らの共産党批判への反論は困難となり、組織論の次元でのイデオロギー的批判を展開した。近代日本分析の深化のため、平野義太郎・山田盛太郎・羽仁五郎・大塚金之助と「日本資本主義発達史講座」全7巻を企画・主導し、
満州事変・・・1931＝31歳：	
五一五事件・1932＝32歳：	刊行され、日本の社会科学に一新時期を画した。この年、控訴審が開廷されるが、<熱海事件>以降、党再建のため非合法活動に入ったと推定される。
国際連盟脱退1933＝33歳：	*山本正美(委員長)・谷口直平・大泉兼蔵・佐原保治と日本共産党中央委員会を再建後、塩沢富美子と結婚し、肺患・脚部不具の身を挺して活動したが、自らが評価していた大泉(スパイ)に売られ、京成電車押上駅で逮捕された。言問警察署はじめ各署をたらい廻しの上品川警察署に移され、拷問で病状悪化し、
帝人疑獄事件1934＝34歳：	たらい回しの末、品川警察での拷問のため品川病院で絶命した。